

## 就 職

## ◎企業数

東京都	鹿児島県
<b>417,988</b> 社	<b>49,970</b> 社

※中小企業庁ホームページ 2016年時点

## ◎初任給（千円）

東京都	鹿児島県
高卒 <b>178.1</b> 千円	高卒 <b>156.7</b> 千円
大卒 <b>220.5</b> 千円	大卒 <b>191.8</b> 千円

※令和元年度賃金構造基本統計調査

## ◎通勤時間

東京都	鹿児島県
約 <b>94</b> 分	約 <b>58</b> 分

※平成28年社会生活基本調査

## ◎平日における平均帰宅時間

東京都	鹿児島県
<b>19時13</b> 分	<b>18時23</b> 分

※平成28年社会生活基本調査

## MEMO :

東京の企業数は鹿児島の約8.4倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦労するかもしれません。初任給は東京が高卒で約2万円、大卒で約3万円高いようです。通勤時間は鹿児島が約36分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考え、時間以上に大変でしょう。平均帰宅時間は鹿児島の方が50分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

## 家 計

## ◎家賃

東京都	鹿児島県
<b>81,001</b> 円	<b>37,863</b> 円

※平成30年住宅・土地統計調査

## ◎1か月の実収入（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
<b>694,159</b> 円	<b>562,022</b> 円

※総務省統計局家計調査年報2019年

## ◎1か月の実支出（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
<b>514,523</b> 円	<b>410,293</b> 円

※総務省統計局家計調査年報2019年

## MEMO :

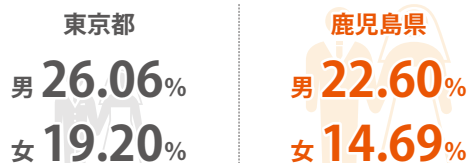
家賃は東京の方が約2.1倍高いようです。家賃のような固定費が高いほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要があります。2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出の差額を比べてみると、

- ・東京：収入694,159円－支出514,523円＝179,636円
  - ・鹿児島：収入562,022円－支出410,293円＝151,729円
- わずか27,907円の差しかなく、東京は収入も多いですが、支出も多いようです。

## 東京と鹿児島の生活を「見える化」

## 結婚・出産・子育て

## ◎未婚率



※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集 2020

## ◎合計特殊出生率



※令和元年人口動態調査

## ◎出産費用（正常分娩の場合の平均）



※平成 28 年度国民健康保険中央会調べ

## ◎1か月間の教育費（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2019 年

## MEMO：

未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が 1.15 人、鹿児島が 1.63 人となっています。

出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約 1.4 倍高く、2人以上の勤労世帯の1か月間の教育費にいたっては約 2.4 倍となっています。

また、子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えます。

## 生活

## ◎病院数（人口 10 万人当たり）



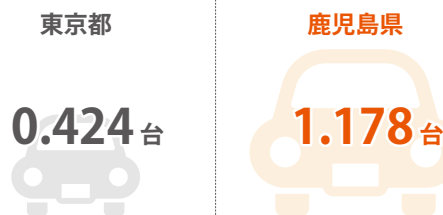
※平成 30 年医療施設調査

## ◎治安（人口千人当たり）



※令和元年犯罪統計

## ◎自家用乗用車の保有台数（1世帯当たり）



※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和 2 年 3 月時点

## MEMO：

病院数は人口 10 万人当たり、東京の 4.7 施設に対し、鹿児島は 14.9 施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。

自家用乗用車の保有台数を 1 世帯当たりで比べると、東京が 0.424 台、鹿児島は 1.178 台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に 1 台は車が必要となるようです。